

せらび

第一三四号

— 発行 —

社会福祉法人
せらび後援会
0144-75-2328

第137回理事会が開催される 厳しさを増す環境の中で法人が目指す事業を明確に

第137回の社会福祉法人せらびの理事会が3月26日に開催されました。

理事会では、2026年度の事業計画と予算案を中心に審議が行われましたが、とりまく厳しい社会的な環境のなかで法人が進める事業の方向性など、各理事らの活発な意見がかわされました。

今年度の事業計画についても、二箇所の地域生活支援センターは北海道や各市の委託事業及び補助事業などを例年と同様に継続していきますが、4カ所の就労支援事業所

では、就労継続支援B型事業での就労支援の質をさらに高め、利用者の個々の働き方を尊重しながら、それぞれのペースで働ける環境を守りながら、ステップアップが可能なチャレンジ事業も継続するなど、多様な働き方が実現出来るよう諸事業を進め、一般就労を希望する方への就労や職場定着に向けた支援にも力を

入れていく計画です。
一方、職員に向けては、「働き方改革」による制度の見直し等を踏まえて、有給休暇の取得推進や待遇改善、キャリア

リングで検討を行い、令和8年度のレクリエーションが決定いたしました。
4月「いちご狩り」、5月「お花見」、6月「バーベキュー」、7月「道の駅」、8月「流しそうめん」、9月「クッキング」、10月「食べ放題」、11月「温泉」、12月「クリスマス会」、1月「新年会（クッキング）」、2月「買い物」、3月「レクミーティング」となっています。

利用者さん同士や地域との交流、趣味や生きがいを見つめるきっかけ作りなど、様々な意味合いで毎月実施しています。初めて支援センターを利用する方も参加しやすい機会にもなっていますので、お気軽にお問合わせください。



今年度のレク決定！

初めての方も参加しやすい機会に

吉小牧地域生活支援センター

吉小牧地域生活支援センターでは、3月にレクミーテ

ア形成に向けた資格取得の支援など、より働きやすい職場環境を整えていくことが確認されました。

ゲーム&クイズレク実施 千歳地域生活支援センター

当センターでは3月下旬に「ゲーム&クイズレク」を実施しました！

クイズ部門では、今流行っているものやオリンピックについて問う時事問題や春にまつわる問題のほか、今年4月から開始する自転車の交通反則通告制度についての問題も出題。当センターには自転車で通所される方も多く、皆さん真剣に悩みながら問題を解いており、確認の機会にもなりました（正答率も高めでした！）。その他、道民にはお馴染みの「お絵描きクイズ」や、

様々な経験をとおして みんなで成長を 就労支援センターおむねつと

おむねつとの最近の様子です。3月に就労系事業所の物販会に参加。自分たちで作った手芸作品を自分たちで売るという経験をさせてもらい、メンバーも「良い経験ができた」と話していました。

4月には「世界自閉症啓発デー」のイベントで事業所と末広郵便局さんで青い小物を販売しました。「北海道自閉症協会 千歳市・恵庭市有志の会」さんのSNSでも取り上げていただいています。

イベントに参加するため新しい作品に挑戦し、普段より多く作品を作り、活発に活動することができました。今年度もたくさんの経験をしてみんなで成長していきたいと思えます。

会の最後には全員でババ抜きを行いました！一人当たりの手札が少ないため皆さんなかなかあがれず、カードを引くたびにドキドキしているのが伝わって大盛り上がり♪楽しい時間を過ごせました！



納会レク開催 一年の労をねぎらうひと時に 就労支援センターまろにえ

去る3月28日(土)、年度の締めくくりとして「納会レク」を行いました。

今回も吉小牧地域生活支援センターをお借りして、メンバー11名が参加しました。料理や会場づくりなどの準備を行い、メンバー代表の乾杯で会が始まりました。それぞれ

ご支援有難うございます

法人、施設、後援会への寄付と会費を納めていただいた方々です。皆様の温かいご支援、ご協力に感謝し、報告させていただきます。
(2026年1月29日〜4月29日)

▽ 法人寄付
星槎道都大学様

▽ 後援会会費
(2025年度分) 笠原浩史様

2025、2026年度の会費納入にご協力、お願いいたします。
年会費は左記の通りです。

- ・ 個人会費 一口 五千円
- ・ 団体会費 一口 二万円
- ・ 賛助会費 一口 三千円

